

目標達成計画

作成日: 令和 3 年 9 月 17 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	各職員の力量と意識のズレが多く見られ、業務改善を行っていく上で、職場全体のレベルアップに繋がっていないので、ケアの方法に統一が出来ていない	各職員が意識と向上心を持って業務に取り組み、職場全体のレベルアップに繋げる	外部研修やネット環境を使い、さまざまな研修を取り入れ、知識の向上と意識の向上を計りつつ、指導する正職員も知識と意識を向上させ、非常勤職員への勉強会等を開催する	3 ヶ月
2	12	自己都合を訴える職員が複数見られ、労働条件の不公平から不満や協力をしない状況が見られる	職場全体が平等に勤務出来る様に環境整備の強化	個々の技量に応じた指導を以前の方法を改め、正職員主体に時間を掛けて行いつつ、理解と協力と意識向上に繋げて行く。	3 ヶ月
3	21	中核症状の状態に応じての自己主張が強い入居者の方が数名おり、個人に対して好き嫌いが見られる	入居者の皆様が仲良く安心して暮らせるように、職員全員がフォロー出来る体制	入居者のお一人お一人の考え方や行動を把握出来るようにミーティングや申し送りなどの内容を的確に分かりやすく、伝わりやすいものへ改善を行い、職員が入居者のフォローをしっかりと行える様に改善出来ると様に指導を強化	3 ヶ月
4	26	職員本位の対応を行ってしまいます場合が多く見られ、思いやり不足と意向をよみとれていない	入居者の意向をしっかりと声に耳を傾けて対応出来る職場環境	業務に追われない様に時間に余裕に余裕のある業務内容の見直し変更を行いつつ、対応出来ない職員に足しては指導や勉強会を開催しつつ意識の向上を図る	6 ヶ月
5	23	職場全体のチームプレーや報連相が上手く出来ない為、課題や意見が反映されていない部分が多く見られる	入居1人1人に合ったケアの構築と改善を行っていく	決めつけずに常に変わっていくものだと認識と意識を持って貰うように、状況に応じた介護方針のハウレン草の強化と職員全員に周知出来る様に、情報発信方法の見直しと改善を行って行く	6 ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。